

EYE LINK

FREE PAPER

特別座談会

北陸4大学眼科教授が語る

[テーマ] 第1回北陸4大学眼科合同研究会の成果について



金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学教授

金沢医科大学眼科学講座
主任教授

福井大学医学部
眼科学教室教授

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座教授

杉山 和久 × 佐々木 洋 × 稲谷 大 × 林 篤志



金沢医科大学眼科学講座
主任教授

佐々木 洋

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座教授

林 篤志



特別座談会

北陸4大学眼科教授が語る

[テーマ]

第1回北陸4大学眼科合同研究会の
成果について

4大学連携で、
世界に発信できる
研究をめざす。



金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学教授

杉山 和久

福井大学医学部
眼科学教室教授

稲谷 大



北陸4大学の大学間連携が本格的に
動き始めている。

去る4月10日に、「第1回北陸4大学
眼科合同研究会」が金沢市内の某ホ
テルで開かれ、大きな反響を呼んだ。
合同研究会の成果や今後の連携のあり
方などについて北陸4大学の教授に話
し合っていた。

(於：JR金沢駅東口 堤門前 2015年6月12日)

連携をきっかけに ブレイクスルーへ

林●この4月に、第1回の4大学眼科合同研究会が杉山先生のご尽力もあって開催することができました。参加者から「楽しかった」という声が多く聞かれ、予想以上の滑り出しになったようです。各大学ではどのように評価されておられるか、良かった点、改善すべき点などをいろいろお聞きして今後に生かして行けたらいいと思っております。

杉山●北陸4大学は、互いに近い距離にありながらこれまで各先生方がどんな研究をしているかまでは良くわかりませんでした。各教授の専門分野は知っていても、具体的な研究の中身まではなかなか知る機会がありません。それが今回の合同研究会で、研究途中のものや発表する前段階のものであっても、それぞれの大学がどういう研究をしているか、将来どういう形で協力していけるかを知る、とっかかりができたのではないかと感じています。

佐々木●同感です。最初はまた一つ会が増えるという認識でしたが、実際には研究に特化しているとところが他の会とは違う。研究会に参加された先

生方にアンケートを取って聞いてみたら、かなりの人から「とてもいい研究会だった」「満足した」という感想がありました。とくに若い先生方が、いろんな研究発表を聞いたことが良かったと思います。これを機に、共同研究みたいな形につながっていったらいいと思います。

稲谷●研究をやっているいつも感じるのは、同じメンバーでやっているのだいたい発想が限られてきてしまうという事です。壁にぶち当たった時に、何かブレイクスルーがないか、別の分野の研究をしている人の話を聞いてみると、意外にクリアできることがあるものです。別の研究グループや他大学の研究内容を聞いて、自分たちにも応用できるものはないか、それを考える非常に良い機会になったと思っています。

異分野との共同研究が 発見につながる

林●感じているところは私も同じです。大学同士で教授の顔は知っていても、その大学の先生方と同じ場で、一緒に話が聞ける機会は今までほとんどありません。そこで研究をしている先

生方はどんな人たちなのか、人と人のつながりが出来上がっていくことが大事で、大学の先生同士が知り合うきっかけができたことは素直に良かったと思います。これを次にどうつなげていくかが大事ですね？

杉山●そう思います。一回で終わらず、継続的に行われてなおかつ一緒にやろうという研究が生まれていくことが大事です。たとえば、今回の発表で金沢医科大学さんでは角膜や視機能の分野で、私たちと全く違う研究をされていることがわかりました。車で20分ぐらいの距離の大学で共同研究することで、私たちが教えてもらうことができるようになります。

佐々木●おっしゃる通りです。今回の研究会を機に、杉山先生の教室の大学院生が、当院の准教授が専門にしている角膜障害の研究と一緒にやるために毎週来られています。私は昨年、国際眼毒性学会を主催したのですがそれが来年またフランスで行われます。その場でぜひ発表しようということになっていて、当院の准教授と杉山先生のところの大学院生がそれを目標と一緒に研究を始めている。本人たちも喜んでますし、私自身も一人、医局員が増えたような感じで、これは大きな成果





杉山 和久 Kazuhisa Sugiyama

金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学（眼科）教授

だと思っています。

林●それは素晴らしい。たしかに大きな成果ですね。

杉山●眼毒性は私自身がやりたい研究でもあるのですが、教室自体がそういう研究をしていないのでなかなかとっかかりができないのでしたのです。眼毒性は佐々木教授のところが強いと聞いてはいたので、緑内障の治療薬の眼毒性などの研究と一緒にできれば、治療や研究の幅が広がります。私たちにもメリットは大きいのです。

林●各大学が個々に頑張っているけれど、今の例のように違う大学同士や、異分野の人たちがディスカッションすることで、稲谷教授がおっしゃったブレイクスルーが見えてくるように思

ます。日本の医学研究が少しパワーダウンしていますから、大学同士が協力してやっていける部分を増やしていくのは、私は非常に大事なことだと思いますね。

稲谷●共同研究をするために他大学の研究室にお邪魔するといろいろな発見があります。普段、自分たちは効率的に研究をしているつもりでも、実際に他大学の研究室に足を踏み入れて器械や器具や試薬などを目にするとはるかに効率的であることがわかったりします。こんな便利な器械があるんだとか、環境整備に関していろいろな発想が生まれます。だから私は教室員には「他大学などを見学に行く機会があったら必ず研究室とか、医局とか、外来



稲谷 大 Masaru Inatani

福井大学医学部眼科学教室教授

のシステムを見せてもらう」ように指導しています。自分の教室に足りないもの、非効率なところがいろいろわかって改善することにもつながります。北陸4大学が連携することで、その大学の研究室がどんなシステムで動いているかを知る絶好の機会になります。

合同研究会で グローバルな視野

林●次回に向けて、どんなふうにつなげていくか、あるいはどんな点を改善したらいいか、それぞれ考えておられるところをお聞かせください。

稲谷●私たちは今回、年齢に関係なく若手からベテランまで研究に興味のあ

る先生が中心に参加しました。研究発表は研修医で2年目の若手が担当したのですが、富山大学さんは10年ぐらいの先生が研究発表されましたし、金沢大学さん、金沢医科大学さんはそれぞれ教授が発表されたので、少し経験不足という面はあったかもしれません。それはそれとして私自身は、若い先生がどういう研究をしているか生の声あまり聞けなかったなので、その点を次回以降、つなげていけたらいいと考えています。

杉山●そう思います。次回から運営や研究発表を含めて、若手中心にできる、いいと思います。私個人としては、4大学の連携はもちろん大事ですが、基礎医学との連携も大事だと感じまし



佐々木 洋 *Hiroshi Sasaki*
金沢医科大学眼科学講座主任教授

た。基礎の先生方は方法論を持っていません。ただ、研究の主体を基礎に置いてしまうと、眼科の研究ではなくなってしまうかねないので、研究の主体を臨床に置いて、基礎医学で方法論を身につけることが戦略的にはいいのではないかと考えています。それともう一点は、海外の大学との連携です。海外に人を派遣して共同研究をすることも大事だと思います。アメリカなど海外の大学はスタッフが多いので、人脈をつくったり、連携して研究することで新しい分野を開拓する機会にもなると思います。一つの教室だけではなく、基礎との連携、4大学との連携、専門学会との連携、そして海外との連携を有機的につなげていくことが教室の発

展にもつながっていくのではないかと考えます。

佐々木 ● 次回は来年5月、私の大学で開催させていただくことになっていきます。それにあたって、私としては話題を絞って教室の主軸の研究でもいいし、大学院の先生がしている研究途中のものでもいい。そういうものを各大学で二つぐらい出していただいてディスカッションできるようにしたいと考えています。私たち教授同士は互い顔と顔が見える関係を築き、大学間連携に関しても前向きに取り組める環境にはなってきていますが、実際のところ医局員同士はまだ競争意識みたいなものがあるような気がします。もちろんそれはお互いを刺激し合う意味で

は大きな効果を持たらしているのは事実です。しかしそれより4大学の合同研究会の場を一つの医局と考えると、互いの競争だけではなく日本全国、あるいはもつとグローバルな視野で世界と戦う意識をもっていくことがもつと大切です。そういう意識を4大学で共有していくことが大事になっていくと思っております。

林 ● まさにおっしゃる通り。100%賛成です。そのために4大学が集まってお互い利害関係を越えた協力ができるばと思います。次回の4大学合同研究会に向けて大きな励みになる目標ができたと思います。皆さん本日はどうもありがとうございました。

E



林 篤志 *Asushi Hayashi*
富山大学医学薬学研究部
眼科学講座教授

特別座談会

北陸4大学眼科教授が語る

[テーマ]

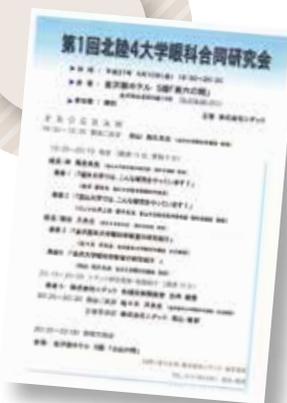
第1回北陸4大学眼科合同研究会の 成果について



情報交換会にて挨拶をされる杉山和久教授

第1回 北陸4大学 眼科合同研究会

去る平成27年4月10日(金) 金沢都ホテル5階「兼六の間」に於いて、第1回北陸4大学眼科合同研究会が開催されました。



第1回 北陸4大学眼科合同研究会 開催される

北陸4大学は、互いに近い距離にありながらこれまで各先生方がどんな研究をしているかまでは良くわかりませんでした。

各地域の集談会で他大学の症例報告等の発表は聞くことは出来ませんが、具体的な研究内容まで知らない、そして知る機会がないのが現状です。

「各大学の専門分野は知っていても、実際どんな研究をしているのだろうか」と感じたのがきっかけで、今回4大学の教授の賛同の下、初めてこのような場を設けることが出来ました。

これは言ってみれば医局の枠を超えた4大学合同のリサーチミーティングです。

この合同研究会をきっかけに、各大学がどういった研究をしていて将来どういった形でお互いに協力できるかを知り、そしてより良い大学連携に発展していければ幸いです。

第1回当番世話人

(金沢大学眼科教授杉山和久)より

WELCOME TO THE ERA OF CENTURION®

先生方と患者様に最良の結果をもたらすために

～安全性と効率性の高次元における融合～

Active Fluidics™

術者が選択した眼内圧 (IOP : Intraocular Pressure) を維持するようにコントロールし、前房の安定性を飛躍的に向上させます

Balanced Energy™

新たに改良されたソフトウェア、チップ、スリーブのデザインによりトーションアルフェイコのパフォーマンスをさらに向上させます

Applied Integration™

他のシステムとプラットフォームを共有し、将来にわたってさらなる術後結果の向上を目指します

販売名：白内障手術装置 CENTURION® VISION SYSTEM
医療機器承認番号：22600BZX00220000

Alcon

a Novartis company

製造販売元(輸入元)

(文献請求先・製品情報お問い合わせ先：メディカル統括部学術情報部 0120-825-266)

日本アルコン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7

©2014 Novartis



iSert® Micro シリーズ

極小切開対応プリロード



※CGによるイメージにつき、
実物とは異なります。

1アクション挿入を強力サポート

コンパクトな両ループ自動タッキング機構

極小切開とプリロードの両立

簡便・清潔・低侵襲な手術をバックアップ

幅広いニーズに対応

トーリックと非球面、着色・非着色をラインナップ

HOYA Surgical Optics

HOYA 株式会社 メディカル事業部

お問い合わせ先：中部営業所
〒466-0027 名古屋市中区阿由知通 4-13 朝日生命名古屋東ビル 5 階
TEL 052-851-7380

製造販売元：
HOYA株式会社
東京都新宿区中落合 2-7-5

HOYA
SURGICAL OPTICS

2015-01-29_HSOJ_1P lenses_AD_JP_01

iSert® Micro Clear

非着色非球面 IOL 搭載
モデル名：254

販売名 HOYA アイサート Micro Clear
承認番号 22300BZX00262000

iSert® Micro

着色非球面 IOL 搭載
モデル名：255

販売名 HOYA アイサート Micro
承認番号 22200BZX00615000

iSert® Micro Toric

着色トーリック IOL 搭載
モデル名：355T3,355T4,355T5

販売名 HOYA アイサート Micro Toric
承認番号 22600BZX00030000



多角的な検査、診断と 専門的な治療でQOLを向上

金沢大学附属病院眼科
(小児眼科・斜視グループ)

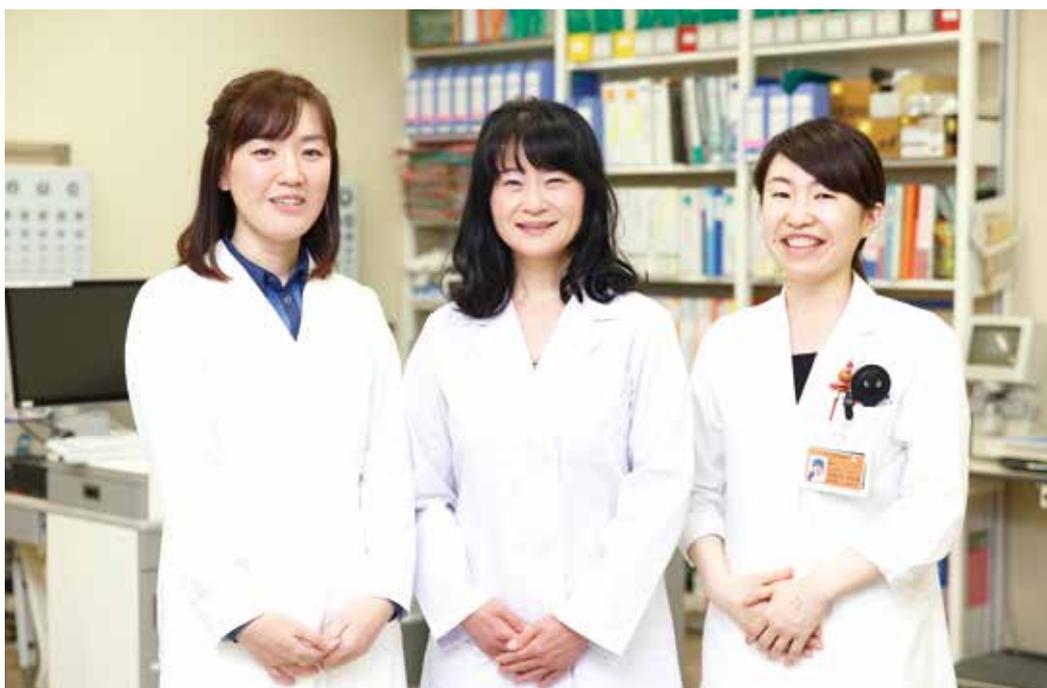
杉山 能子 医師 (中央)

金沢大学附属病院眼科
(小児眼科・斜視グループ)
やわたメディカルセンター

清水 ふき 医師 (左)

金沢大学附属病院眼科
(小児眼科・斜視グループ)

宇田川 さち子 視能訓練士 (右)



発達過程で 視機能を獲得

金沢大学附属病院の小児眼科・斜視グループは、特に小児の弱視と斜視、成人の斜視を専門に診療している。リーダーの杉山能子医師は、北陸では数少ない小児眼科・斜視の専門医で、この分野の先駆者でもある。

「斜視自体は50人に1人くらいの頻度といわれています。原因は、遺伝性のもので、原因不明のものなどいろいろあります。発症が幼少時であっても気づかず、成人になってから増悪して受診する場合もあります。また、生後間もなく発症し早期に手術して経過良好であったのに、10年以上経て別な種類の斜視が発症する場合もあります。斜視だけでは失明することはありませんが、弱視の原因になることがあります。また、網膜芽細胞腫の児の初発症状が斜視であったり、脳腫瘍などの全身疾患の一症状として斜視が発症し初診することもあるので、そのような『斜視に隠れた重篤な疾患』を見逃さないようにすることが大切です。斜視の治療は、その種類や年齢、弱視

が合併しているかどうかなどによって違ってきます。たとえば、遠視が原因の内斜視である調節性内斜視では手術は行わずに眼鏡を常にかけることが治療となりますが、乳児内斜視では早く手術して両眼で同時に一つの物を見る機会を与えてやらないと立体視(3D)が一生できないままとなってしまいます。また、発症後数十年経た斜視では、手術で眼位をまっすぐにすると二重に見える生活できないこともあります」

もう一生治ることはないと言われているが、生後両眼で適切なものを同時に鮮明にみることによって発達し、3歳時には0.6〜0.8、4歳では0.9〜1.0となる。もし、発達の妨げとなる眼疾患や異常があると「弱視」となる。弱視の原因も様々であるが、早期発見し治療することにより

PROFILE



杉山 能子
すぎやま・よしこ

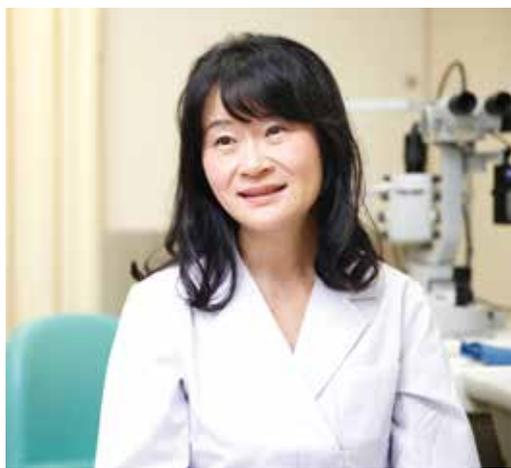
1988年 滋賀医科大学卒業
1988年～1990年 滋賀医科大学眼科医員 (研修医)
1990年～1991年 公立甲賀病院眼科医員
1991年～1993年 滋賀医科大学眼科助手
1993年～2003年 滋賀県立小児保健医療センター眼科
2003年～2005年 川崎医療福祉大学感覚矯正学科教授
2005年～ 金沢大学で小児眼科・斜視担当

視機能が発達する。乳児健診、一歳六か月健診、三歳児健診などで発見された弱視を迅速に治療開始することが重要になる。

難しい検査、診断を 連携プレーでより正確に行う

しかし、乳幼児の場合は視力検査ひとつにしても弱視かどうか見極め正確な診断が難しい。乳幼児の視力検査は年齢月齢によってその方法と正常値が異なるのである。どんな検査が必要でその結果をどう判断するかは、眼科医と視能訓練士の連携が必須なのである。また、小児眼科は保護者の理解と協力なしでは診療・治療できない。そのため日ごろからコミュニケーション能力をつけるように心がけていると清水ふき医師が話す。

「弱視は身近な家族でも全く気付いていないことも多くあり、お子さんが弱視と診断されて戸惑っているご家族に、現在の状



態と今後の治療方針を丁寧に説明するところから治療を始めるようにしています。また多くのお子さんは、アイパッチや眼鏡装用といった弱視治療を嫌がるため、治療の開始や継続には家族の努力が不可欠です。患者や家族にとって長期間に及ぶ治療はストレスが大きく、治療が中断してしまうことがないよう精神面でのフォローも心がけています」

金沢大学附属病院では検査・診断を多角的に行っている。ドクターの片腕としてその役割を担うのが視能訓練士。その一人、宇田川さち子さんが見極めの難しさに言及する。

「私たちは、視機能の状態を評価する視能訓練士としての目線と子どもと同じ目線で接するということ、先入観を持たない。ということが大切だと思います。子どもは、集中力やご機嫌という『時間制限』があるので、今日は何を一番に評価するか？という優先順位を考えて検査に臨みます。問診や検査結果、検査中の児の様子、待合室での様子をよく観察すること、すなわち、常に色々な方向にアンテナを向け情報をキャッチできるようにしておく必要があります。そのうえで、医師と視能訓練士で情報を共有し、相談して評価・診療につなげていきます」

視能訓練士になる学校には、保育や子ども発達に関する授業や、実習もカリキュラムに含まれる。いろんな角度から早期に、正確に発見、診断するために、ドクターと連携を取りながら一例一例をじっくり観察し、考えながら魂を入れて検査をしているのだ。

福井 福井県済生会病院

視能訓練士活動紹介



福井県済生会病院では現在5名の視能訓練士が勤務しており、そのうち2名が認定視能訓練士の資格を取得しています。ちなみに2015年4月現在、全国に311名の認定視能訓練士がいますが、北陸では9名(富山県5名、石川県2名、福井県2名)とまだ少なく、福井県では当院のみとなります。日常業務は外来に加え健診業務にも携わっているため、健診業務のある午前中は人手不足の状態で行っています。眼鏡やコンタクトレンズ処方など予約制にしている検査も多いため、外来開始とともに3名が眼鏡処方を担当し外来が滞ることもありますが、出来る限り患者さんの要望に応えられるよう少数精鋭で頑張っています。新しい機器の導入とともに検査の数も増えましたが、「考える視能訓練士」をモットーに、忙しい中でも患者さんの声に耳を傾け、より質の高い医療を提供できるよう日々精進したいと思っています。

福井県済生会病院
認定視能訓練士

富山園子 (左上)
とみやま そのこ

福井県済生会病院

多田伊吹 (中上)
ただ いぶき

福井県済生会病院

堂本美雪 (右上)
どうもと みゆき

福井県済生会病院

笈田郁子 (左下)
おいだ いくこ

福井県済生会病院
認定視能訓練士

萩野谷人志 (右下)
はぎのや ひとし

眼瞼下垂や腫瘍の治療で 存在感を発揮する。

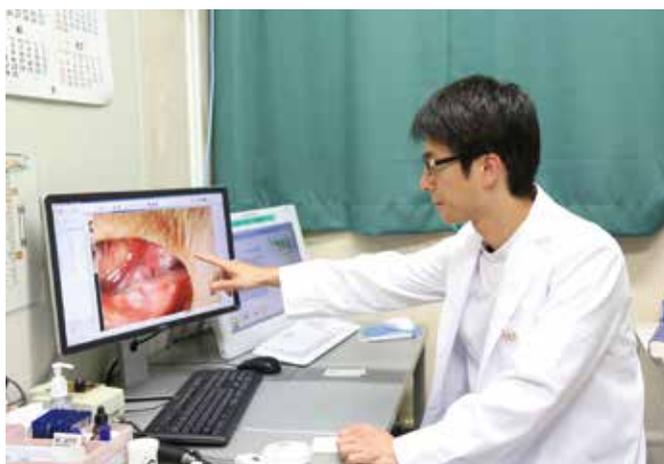
富山大学附属病院眼科
(眼瞼、眼窩、眼形成)

柚木 達也 医師

眼形成分野の患者が増えている

眼科の診療領域というと、一般的に白内障や緑内障、網膜硝子体や角膜など目の中の疾患が多いが、近年は眼瞼下垂や内反症、腫瘍と言った目の外側の疾患も徐々に増えつつある。日常的に遭遇する疾患例としては、瞼が垂れ下がる眼瞼下垂、下まぶたの筋肉が弛緩してまつ毛や瞼縁の皮膚が角膜を刺激する内反症、腫瘍、眼窩壁骨折などがある。

「一番多いのは眼瞼下垂で、加齢とともに瞼を引き上げる筋肉が後退して瞼が垂れ下がる症状です。コンタクトレンズを長年愛用している人にも多くみられます。眼瞼下



垂には先天的なものや脳梗塞、重症筋無力症など他の要因から二次的に生じるものもあります。当院では高齢化に伴って瞼が垂れ下がり、視野が狭くなるケースが多く、治療は患者さんの病態に即して瞼を上げる手術などを行います。眼形成の分野はまだ治療が始まったばかりで、手術などの外科的治療が中心ですが、見やすさや目の疲れ具合を改善するなど生活に直結するので、今後さらに患者数が増えるの見込まれています」

眼形成を専門にする柚木達也医師は、現状についてそう説明する。実際、眼形成分野は治療による満足度やQOL(生活の質)を改善させる重要な部分。富山大学附属病院では2013年が97件、2014年110件(うち涙道が30件)とここ数年、眼形成分野の患者数が増えている。

腫瘍で大病院の強みを生かす

一方、眼形成分野で見逃せない疾患が腫瘍である。眼窩にできる腫瘍は良性から悪性までいろいろだが、柚木医師は「瞼の腫瘍は見た目にわかりにくく、意外に厄介」と警鐘を鳴らす。

「瞼の下にできたイボだと思って外来にきた患者さんで、念のために切除した細胞を病理に回すと腫瘍だと診断されることが度々あります。腫瘍は病理検査が重要で、当院では病理検査を全例に行っています。一般のがんと同じようにいろんな要因がありますが、大腸がんや肺がんなどと比べて治療法などはまだあまり進んでいないのが実情です。なかには10数パーセントはリンパ節に転移するという報告もあるので、手術



術前



術中



術後



など外科的治療を中心に病理や基礎の先生方と連携して研究したいと思っています」

腫瘍の手術は、病変の切除とともに瞼の再建もポイントになる。整容などの見た目やQOLにかかわることから、できるだけ機能を温存して再建することを念頭に治療にあたる。悪性度が高く腫瘍が大きくなると、耳鼻科や脳外科、歯科口腔外科、内科など他の診療科と連携して、集学的な治療を行なうケースもある。柚木医師は「瞼の再建材料として鼻の粘膜を取って移植する再建手術なども行えるので、他科との迅速な協力、連携を生かせる大学病院の強みが発揮できる」と強調する。

富山大学附属病院では今後、集談会や地域の講演会などを利用して、眼瞼下垂や腫瘍などの認知や治療法などを普及させたいと考えて、柚木医師は「瞼の腫瘍は急にできるし、見逃しやすいので、まつ毛が抜けるとか、目がかすむなどの違和感があつ

たらすぐに相談していただけたらありがたい」と、地域の医療機関に訴えている。

PROFILE



柚木 達也
ゆのき・たつや

- 2002年 3月 富山医科薬科大学医学部卒業
- 2002年 5月 富山医科薬科大学附属病院眼科
- 2002年10月 長野県立須坂病院眼科
- 2004年 4月 新潟県厚生連上越総合病院眼科
- 2005年 4月 富山医科薬科大学医学部眼科助教
- 2015年 3月 富山大学大学院医学薬学教育部（博士課程）卒業
- 2015年 4月 富山大学大学院医学薬学教育部眼科学講師

富山 あさひ総合病院

視能訓練士活動紹介



あさひ総合病院 視能訓練士
川合あずさ (左上)
かわい あずさ

あさひ総合病院 視能訓練士
中村友香里 (右上)
なかむら ゆかり

あさひ総合病院 視能訓練士
松岡ちひろ (左下)
まつおか ちひろ

あさひ総合病院 視能訓練士
梅澤さゆり (右下)
うめざわ さゆり

あさひ総合病院では育児休暇に入っていた2人が復帰し、現在、常勤の視能訓練士4名（視能訓練士30年ベテラン梅沢さゆり、頼もしい松岡ちひろ、おっとり優しい中村友香里、フレッシュ川合あずさ）が検査、訓練を行っております。

当院は富山と新潟県の県境にあり、両県の近隣の方がたくさん来院されます。遠方からでは上越市や富山市からもみえます。

午前には主に眼科一般検査を行っております。4人全員が業務全てに精通できるように、月単位で検査担当を交代し様々な検査を行っております。分からない事や悩み事は、すぐに話し合いを行い、先生にも相談して解決するように心がけております。

午後は週2回の一般外来もありますが、斜視外来、眼鏡合わせ、蛍光造影撮影検査や術前検査などを行っており、個々のスケジュールで予約を行っております。

またロービジョンにも力を入れており、年に何度か外部から講師を招きロービジョン相談会を行い、少しでも日常生活の質の向上へ繋がる補装具の選定に努めております。

日々、検査に追われがちですが、一人一人が正確な検査を行い、患者さんにとって何が1番大事かを考え、クオリティオブビジョンに心がけお互いを切磋琢磨しながら、これからも頑張っていきたいと思っております。

地域医療最前線

北陸地区には大学病院と共に地域眼科医療の担い手病院がある。特別号では地域の眼科医療において最前線で活躍されている医療施設の眼科医師に現在の診療状況についてお聞きした。

かみいち総合病院

〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51
TEL.076-472-1212

眼科スタッフの紹介

医師は1名、看護師1名、医療事務作業補助者1名、視能訓練士1名でしたが今年から視能訓練士が2名に増えました(どちらも非常勤)。外来数は、平成26年度は延べ1万人ちよつとでした。昨年の手術件数は約270件、うち240件が白内障手術、他は内反症、翼状片、霰粒腫手術などを行いました。補装具適合判定医として、ロービジョンにも取り組んでいます。また当院には糖尿病センターがあり、中新川地区からの糖尿病患者さまの紹介も多くいらっしゃいます。

アピールポイント

こちらに赴任してもう15年以上たちますが、やはり患者さまの高齢化が進んでいると思います。難聴、車椅子、認知症の患者さまや90歳以上の独居という方も少なくありません。全科当直をしていますと、終末期医療に携わる機会もあり、医療技術を提供する病院の役割を改めて考えさせられます。来年には電子カルテと病院機能評価のダブル更新があり、今後は訪問看護センターが開設される予定ですので、眼科には訪問診療の必要性が問われてきます。

これからも、患者さまの希望に出来る限りお応えし、患者さまに手を沿え、心を添えて、診療に望みたいと存じます。この場をお借りし、諸施設の先生方からのご指導、ご鞭撻に心より感謝申し上げます。



眼科部長
長田 裕子
ながた・ゆうこ

[専門分野]
眼科一般
[認定資格]
日本眼科学会専門医、
視覚障害者用補装具適合判定医



石川県立中央病院

〒920-8530 石川県金沢市穀月東2丁目1番地
TEL.076-237-8211

外来スタッフ体制について

常勤スタッフは、医師2名、視能訓練士2名、看護師3名、医療事務2名、医療クラーク1名です。非常勤スタッフとしては、金沢大学病院から火曜午前中に手術応援医師、水曜午後外来応援医師に来てもらっています。

診療実績について

平成26年度の外来患者数は10,779人でした。平成26年度の手術件数は、白内障手術が477件(但し併施含む)、網膜硝子体手術が89件、緑内障手術(GSLとトラベクトミー)が11件、眼内レンズ縫着が8件、眼瞼下垂・内反症が19件、その他が35件でした。抗VEGF薬硝子体注射も積極的に行っております。

アピールポイントは?

私(清水)は、金沢大学病院在籍中、網膜硝子体疾患(メディカル・サージカル)を専門として診療に当たっておりました。しかし、もちろん当院のような病院は疾患を選び好みはできません。緑内障、小児眼科、ぶどう膜炎、神経眼科、角膜疾患の患者さんなどが多く受診されます。当たり前のことかもしれませんが、どのような疾患でも努力して診療に当たり患者さんから感謝されると臨床医としての喜びを感じます。

自分のできる範囲であらゆる分野の眼疾患に対応していきたいと思っておりますので、どのような症例でもご紹介いただければと思っております。

眼科医長
清水 道春
しみず・みちはる

[専門分野]
眼科手術一般
網膜・硝子体疾患の薬物治療
[認定資格]
日本眼科学会専門医、
PDT(光線力学療法)認定医
ボトックス認定医
トラベクトーム手術研究会会員





島経営グループ



株式会社メディカ・コンサルティング

ビスポークのような医業経営コンサルティング

ビスポーク:テラーに話をかけながら (be spoke) オーダーメイド服を仕立てていくこと。

〒920-0003 石川県金沢市疋田1丁目33番地

TEL:076-252-0162



ハンドヘルドレフケラトメータ/ハンドヘルドレフラクトメータ

HandyRef-K/HandyRef

簡単をその手に!

“測りやすくスピーディー”

「シンクロ測定」により、
測定速度と精度が向上

3.5インチ液晶モニターの採用で、
被検者の様子を観察しながら測定が可能

小児の固視をアシストする機能を装備
(一部、工場オプション)

50名分(100眼)の測定データを本体に保存し、
後からステーションに転送しプリント可能



写真: キャリングケース*
(ポータブルスタンド付き)使用
*オプション

販売名: ハンドヘルド レフケラトメータ HandyRef-K
ハンドヘルド レフラクトメータ HandyRef



Eye & Health Care

株式会社 ニデック

本社/愛知県蒲郡市拾石町前浜34番地14 〒443-0038 TEL.0533-67-8840

支店/札幌・仙台・埼玉・東京・横浜・蒲郡・金沢・京都・大阪・高松・広島・福岡

URL <http://www.nidek.co.jp> <金沢支店> TEL (076)268-8951

Santen

ひと・ひとみ・すこやか。



参天製薬は、眼科領域に特化し、医薬品の研究開発、製造・販売を行っています。
1890年の創業以来、120年以上の歴史を通じて培ってきた参天製薬ならではの知恵と組織的能力を礎に、日本のみならず、欧州やアジアを中心に世界70カ国以上で製品を販売しています。
参天製薬は、これからも患者さんと患者さんを愛する人たちのQOL向上に貢献してまいります。

参天製薬株式会社

大阪市北区大深町4-20 TEL 06(6321)7000
<http://www.santen.co.jp/>

JU15E000A42WC_A



医療機器承認番号 22600BZX00238000
販売名 トーメー2WEEKS

2週間交換型ソフトコンタクトレンズ

DressEye 2weeks

瞳の安心と安全を考え、色素をレンズ内部に完全に閉じこめた環状着色コンタクトレンズです。

サンプル依頼など、お問い合わせは

株式会社 **トーメーコンタクトレンズ**

愛知県名古屋市中区則武新町二丁目19番11号
TEL : (052)588-2482 FAX : (052)588-2483
URL : <http://tomey-cl.co.jp/>

BAUSCH + LOMB

「プリザービジョン2」誕生。

New!



米国での新たな臨床研究に基づき、日本人に適した栄養成分・摂取量を考慮しています。

ボシロムジャパン株式会社 本社・東京営業所: 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-2 大森ベルポートB館 TEL: (03)5763-3861(代) www.ocuvite.jp



最新眼科治療用レーザーメーカー

エレックス株式会社

<http://www.ellex.jp>

大阪市淀川区宮原 4-3-7 理想新大阪ビル 4F Tel: 06-6396-2250 Fax: 06-6396-2254



静的視野・動的視野測定の最先端領域を体感

AUTOMATIC PERIMETER
自動視野計オクトパス900

OCTOPUS 900

一台で静的・動的視野測定に対応し精度・快適性・使いやすさを追求、コスト面・設置スペースにも配慮しています

オクトパス自動視野計
日本総代理店



アールイーメディカル株式会社
R E MEDICAL, INC.

本社: 〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-29 TEL: (06) 4794-8220 (代)
掲載商品の詳細はホームページをご覧ください。 www.re-medical.co.jp





未来へ駆ける。

人との繋がりを大切にしながら、
わたしたちは、走り続けます。



Central Medical

セントラル
メディカル
グループ



医療機器総合商社

セントラルメディカル株式会社

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(262)1111(代) FAX.076(223)7255
金沢支店・富山支店・福井支店
<http://www.centralmedical.co.jp/>

福祉用具レンタル・販売

株式会社メディベック

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(224)5600(代)
FAX.076(224)6116
富山営業所・福井営業所

栄養機能食品

オプティバリア

ルテイン、ゼアキサンチン、
ビルベリー、アスタキサンチン、
亜鉛、銅、ビタミンB₂・C・E、ナイアシン配合



摂取方法:

1日1粒を目安に、水などと一緒にかまずに
お召し上がり下さい。

お問い合わせ先

日東メディック株式会社

電話 03-3551-9333

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

〒939-2366 富山県富山市八尾町保内1-14-1

2015年5月作成

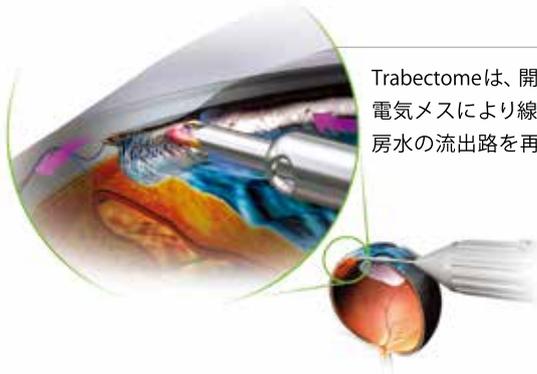


TRABECTOME®

LESS INVASIVE SURGICAL MANAGEMENT OF GLAUCOMA

緑内障の低侵襲手術を実現!

房水の流出機能を回復



Trabectomeは、開放隅角緑内障に対する線維柱帯切開術のひとつで、電気メスにより線維柱帯の一部を切開・除去することにより、房水の流出路を再建する新しい眼科用電気手術器です。

Trabectomeの特長

- ◆ 角膜切開からのアプローチなので低侵襲手術が可能
- ◆ 電気メスとIVA*チップが合体した新発想のハンドピースを採用
- ◆ 結膜・強膜が温存できるので再手術を妨げません

* 灌流/吸引



販売名:トラベクトーム 承認番号:22200BZI00019000

※ご使用に際しては、添付文書・取扱説明書をご参照ください。

TRABECTOME は日本及び諸外国におけるNeoMedix社の登録商標です。

外国特例承認取得者: NeoMedix Corporation(米国) 選任製造販売業者: 株式会社 中京メディカル

販売元



興和株式会社

ライフサイエンス事業部

URL: <http://www.kowa.co.jp>

東京 〒103-8433 東京都中央区日本橋本町 3-4-14
 仙台 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 12-21
 名古屋 〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-10-37
 大阪 〒541-8511 大阪市中央区淡路町 2-3-5
 福岡 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 4-15

TEL (03) 3279-7384
 TEL (022) 267-1784
 TEL (052) 963-3296
 TEL (06) 6204-6184
 TEL (092) 271-2663

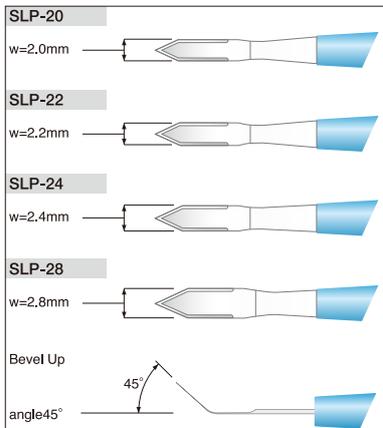


スリットナイフパラレルサイド

SLIT KNIFE PARALLEL SIDES • STERILE • STAINLESS STEEL • SINGLE USE

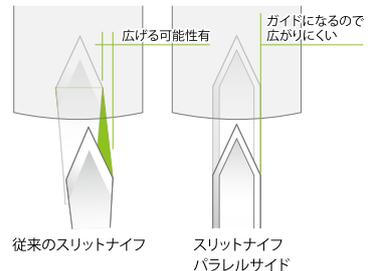
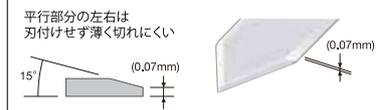


- ・NC加工により、均一で鋭利な先端形状です。
- ・特殊刃先仕上げにより、バラツキを低減させ、優れた切れ味を有しています。



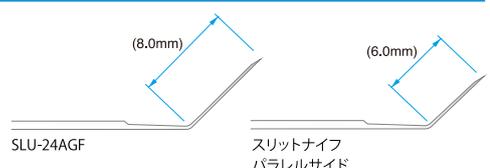
創口拡大リスクの軽減

従来のスリットナイフでは、引き抜く際に斜めになってしまった場合、創口を不用意に広げてしまう可能性があります。根本まで最大幅を維持した形状にすることにより、真っ直ぐに引き抜くようにガイドされ、創口が広がってしまうリスクを軽減します。



操作性の向上

曲げ位置から先端までの長さを2mm短くすることにより、上方からアプローチする際の操作性を改善（特に眼瞼裂の狭い患者様に有用）。



販売名: マイクロサージェリーナイフ
医療機器認証番号: 219ABBZX00200000

製造販売元

カイ インダストリーズ株式会社
国内営業部 医療器

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575) 28-6600 Fax (0575) 28-6611
<http://www.kai-group.com/global>

仕様は変更することがあります

先ず5年間頑張ろう！

金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学(眼科)教授
杉山 和久

1992年留学から戻った私は、岐阜大学眼科で「先ず5年間頑張ろう！」と決意していた。その後のことは全く考えていなかった。私はエンドセリンに興味をもち、ここから全く新しい眼圧下降薬を開発することを夢見て、同級生の谷口君(金沢大学卒、開業)、下級生の岡田君(開業)、バングラデシュからの留学生のハクさん(米国在住)の4人グループでウサギを使って実験を開始した。これはとんでもない金鉱で英語論文が一流雑誌に次々と掲載された。残念ながら市販には至っていないが、私は未だこの夢を捨てきれずにいる。また、私は「正常眼圧緑内障の病態解明に乳頭出血が鍵になるのではないか」との直感をいただき、先輩の富田剛司先生(東邦大学大橋病院教授)、下級生の恩田君(開業)、韓国からの留学生のパーク先生(現ソウル大学教授)の4人グループで臨床研究を開始した。これも論文生産の金鉱でその後の私のライフワークとなった。あっという間に5年が過ぎ、その業績で日本眼科学会学術奨励賞、日本緑内障学会須田賞、岐阜医学学術奨励賞を受賞し、1996年から講師に昇任した。「よし、もう5年頑張ろう！」と決意したのが1997年である。それから私は岐阜大学眼科の仲間とともに夢を追って研究に没頭した。この間10年連続ARVOに参加し、これが私の最大の楽しみであった。そして、次の5年が経過した2002年に、恩師北澤先生はじめ多くの先生方から薦められて私は金沢大学眼科の教授選に出馬し、2002年12月に金沢大学眼科教授に就任した。



▲岐阜大学眼科診察室にて(2002年頃)



Daytona

超広角走査レーザ検眼鏡



200Tx

- > 画角 200 度で、眼底の約 80% の領域をカバー
- > 高解像度 SLO 画像を、1 回約 0.4 秒で取得
- > 疑似カラー、レッドフリー、自発蛍光などの SLO 画像が 1 台で取得可能
- > 200Tx は蛍光造影が可能



中央産業貿易株式会社 www.chuosangio.co.jp



Lumenis
Energy to Healthcare

Now ready to shift to
the next stage *with Array*



RETINA



**Array
LaserLink**
Array レーザリンクデリバリーシステム



**VISION
one**

製造販売業者 **株式会社 日本ルミナス**

本社 〒140-0014 東京都品川区大井1-14-3 K-3ビル 5F TEL : 03-4431-8300 FAX : 03-4431-8301
オペレーションセンター 〒135-0064 東京都江東区青海4-4-18 TACS TEL : 03-4431-8310 FAX : 03-4431-8311
E-mail: ophlaser.japan@lumenis.com URL: http://www.lumenis.co.jp



// Certainty
MADE BY CARL ZEISS



販売名: IOL マスター 700
登録番号: 226AHBZX00028000

The moment you get the full picture
to make the best decisions for your patients.
This is the moment we work for.

IOL マスター 700
SWEPT Source Biometry™ from ZEISS



We make it visible.

若手医師の現場から

明日の眼科医を目指して日夜がんばっている
研修医のみなさんを紹介しています。

手術の技術向上だけでなく多くの知識を身につけ
的確な診断・治療ができるように日々精進します



富山大学眼科
石田聖朗
いしだ・まさあき

■富山大学での研修のいいところ

外来診療、病棟業務、執刀、手術助手などいろいろな業務をさせて頂いています。そのため、責任重大で、大変忙しい毎日ですが、非常にやりがいのある楽しい日々となっています。最近では、白内障手術などで、無事完投したことに安堵すると同時に、翌朝、患者さんの喜び姿を見て幸せを感じる今日このごろです。また、全国のトップランナーである先生方を講演会にお招きして、最新の知識を得る場が頻りに設けられています。これは林教授の広い人脈の賜物であり、そういった点でも我々は恵まれていると思います。

■眼科研修で印象的だった事

眼科研修中に特に印象的だった患者さんがいます。「Love」遺伝性視神経症の10歳の男子です。自分で診断を下した担当患者さんだったので、病気の詳細を伝えると、家族本人ともに強くショックを受けていました。御家族からは診断がついてよかったと感謝はされましたが、診断ができて治療が出来ない事に非常に歯がゆい思いをしました。治療法のない病気について、そしてそういった患者・家族との関わり方を考えさせられた1件でした。

■どんな眼科医を目指すか

「患者さんたちは君たちの事を、何も知らない研修医と分かつたうえで命を預けてくれている。だから君たちは必死に勉強して、患者さんから多くを学び、そして患者さんに接しなさい」これは初期研修の時に循環器内科の先生から言われていた言葉です。最近、この言葉をよく思い出します。仕事が増えるにつれ、余裕がなくなり、つい自分に甘くなりがちですが、この事を常に忘れないよう心がけていきたいです。手術の技術向上だけでなく、多くの知識を身につけ、的確な診断・治療ができるように日々精進します。



Clearly Toric

TECNIS® Toric OptiBlue® 1-Piece IOL



エイエムオー・ジャパン 株式会社 名古屋営業所
〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵3-15-31 千種ニュータワービル11F TEL.052-934-0591 FAX.052-934-0593

販売名: テクニストーリック オプティブルー
医療機器承認番号: 22600BZX00508000

Abbott
Medical Optics



アドレナリン α_2 受容体作動薬
緑内障・高眼圧症治療剤

アイファガン®点眼液0.1%

AIPHAGAN® OPTHALMIC SOLUTION 0.1%

プリモニジン酒石酸塩点眼液
処方せん医薬品[※]

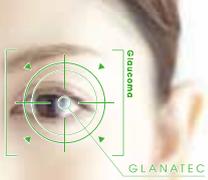
02338

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先: 千寿製薬(株)カスタマーサポート室
製造販売元 千寿製薬株式会社
大阪市中央区平野町二丁目5番8号
販売 武田薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町四丁目1番1号
2013年5月作成

薬価基準収載

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること



Rhoキナーゼ阻害薬 - 緑内障・高眼圧症治療剤 -

グラナテック®点眼液0.4%

GLANATEC® ophthalmic solution 0.4% (リバズル塩酸塩水和物点眼液)

処方箋医薬品: 注意—医師等の処方箋により使用すること



製造販売元(資料請求先)
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14
販売元
興和創薬株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

15.5作成

フーリエドメインOCT技術により、高速・高感度測定を実現

光学式眼軸長測定装置 OA-2000

TOMEY CORPORATION



若手医師の現場から

明日の眼科医を目指して日夜がんばっている
研修医のみなさんを紹介しています。

眼科学知識だけでなく、
幅広い知識を得ることを
心がけています



金沢大学眼科
土屋俊輔
つちや・しゅんすけ

■眼科を選択したきっかけ

学生時代の実習にて、顕微鏡を用いた操作が楽しく、また金沢大学眼科学教室の和気藹々とした雰囲気魅了され、眼科医になろうと心に決めました。

■現在の研修内容

外来診療・検査、手術助手、病棟業務など充実した日々を過ごしています。

■今特に頑張っていることは

仕事に追われがちな毎日ですが、その中でも時間を見つけて眼科学知識だけでなく、幅広い知識を得ることを心がけています。

■今後について

目の前のことに集中して取り組んでいきたいと思っています。

毎日成長して早く

一人前の眼科医になりたい



金沢大学眼科
山田祐太郎
やまだ・ゆうたろう

■眼科を選択したきっかけ

手を動かすことが好きなので、手術や手技が多いことに魅かれました。また、「見える」ようになるために眼という臓器が複雑で精巧な構造をしていることに興味を持ち、もっと深く知りたいと思うたので眼科を選択しました。

■現在の研修内容

受け持ちの患者様の診察、手術助手、術後管理や、外来診療、検査などに携わっています。眼科はものすごく奥が深く、新しいことを知れば知るほど面白さを感じます。また、治療をして「見えるようになった」と患者様に喜んでいただけたことは私にとっても嬉しいことで、眼科を選んでよかったと心から思います。

■今後目指すこと

当面の目標は手術の執刀医になって手術を完遂できるようにすることです。まだまだ遠すぎる道のりですが、毎日成長して早く一人前の眼科医になりたいです。

MEDICAL ART

株式会社 メディカルアート

私たちはいつも医療のそばにいます

- ・ホームページ制作
- ・情報誌の発行
- ・記念誌／パンフレット
- ・各種映像の制作及び編集
- ・広報誌／診療案内

制作に関わる取材及び撮影

本社

〒921-8027 金沢市神田2-1-61
TEL: 076-242-6663 FAX: 076-242-6671
E-mail: info@medicalart.jp

大学事業部

金沢店(金沢大学病院内)
〒920-0934 金沢市宝町13番1号
TEL: 076-234-6179 FAX: 076-234-6178
E-mail: nj-magk@io.ocn.ne.jp

信州店(信州大学病院内)

〒390-0802 松本市旭3丁目1番1号
TEL: 0263-37-5280 FAX: 0263-37-5278
E-mail: nj-shin@crocus.ocn.ne.jp

講演会スケジュール(2015年8月～)

	日程	会名	場所	時間	演者
石川	2015年 10月3日(土)	第9回北陸オフサルミックフォーラム	ANAクラウンプラザホテル金沢	17:30～20:20	堀 裕一 先生 (東邦大学医療センター大森病院) 日下 俊次 先生 (近畿大学堺病院) 福地 健郎 先生 (新潟大学) 三村 治 先生 (兵庫医科大学) 正木 利恵 先生 (金沢大学)
	2015年 11月5日(木)	第4回石川オキュラーサーフェス研究会	金沢東急ホテル	18:30～20:30	中村 隆宏 先生 (京都府立医科大学) 高橋 浩 先生 (日本医科大学)
	2015年 12月20日(日)	第336回金沢眼科集談会	金沢ニューグランドホテル	13:00～16:00	大鹿 哲郎 先生 (筑波大学) 佐々木 次壽 先生 (佐々木眼科)
	2016年 2月27日(土)	第21回北陸眼疾患シンポジウム	ホテル日航金沢	17:00～20:10	廣岡 一行 先生 (香川大学) 毛塚 剛司 先生 (東京医科大学) 佐藤 美保 先生 (浜松医科大学) 中村 誠 先生 (神戸大学)
富山	2015年 10月4日(日)	第100回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山国際会議場(会議室201・202)	14:00～16:30	新田 耕治 先生 (福井県済生会病院) 山本 修一 先生 (千葉大学)
	2015年 10月31日(土)	第31回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:15～20:30	木村 亜紀子 先生 (兵庫医科大学) 吉村 長久 先生 (京都大学)
	2015年 11月23日(月・祝)	第73回富山眼科集談会	富山国際会議場(会議室203・204)	13:00～16:30	堀 裕一 先生 (東邦大学医療センター大森病院)
	2015年 11月28日(土)	第32回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:00～20:00	長谷部 聡 先生 (川崎医科大学) 石龍 鉄樹 先生 (福島県立医科大学)
	2016年 1月16日(土)	第102回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山国際会議場(会議室203・204)	18:30～20:30	古田 実 先生 (福島県立医科大学)
	2016年 5月22日(日)	第74回富山眼科集談会	富山国際会議場(会議室203・204)	13:00～16:30	今川 幸宏 先生 (大阪回生病院) 未定
	福井	2015年 9月5日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～21:00
2015年 11月7日(土)		福井県眼科医会学術講演会	福井商工会議所	18:30～20:40	黒坂 大二郎 先生 (岩手医科大学) 糺賀 司珠也 先生 (和歌山県立医科大学)
2015年 11月28日(土)		年忘れ福井県眼科勉強会	福井フェニックスホテル	18:00～20:00	飯田 知宏 先生 (東京女子医科大学) 鈴木 茂伸 先生 (国立がん研究センター)
2016年 1月23日(土)		福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～21:00	園田 康平 先生 (山口大学)
					高野 繁 先生 (日本眼科医会)

<http://www.sanwakikai.co.jp/>



眼の医療のために、できること。

三和器械は眼科医療の専門商社として
最新の医療機器、医療用医薬品及び
専門的な技術メンテナンスを各医療機関に提供しています。



眼科医療機器 眼科用剤 総合商社

三和器械株式会社

〒920-0935 石川県金沢市石引4丁目4番6号 TEL:076-222-1655(代) FAX:076-222-1668 E-mail:post@sanwakikai.co.jp